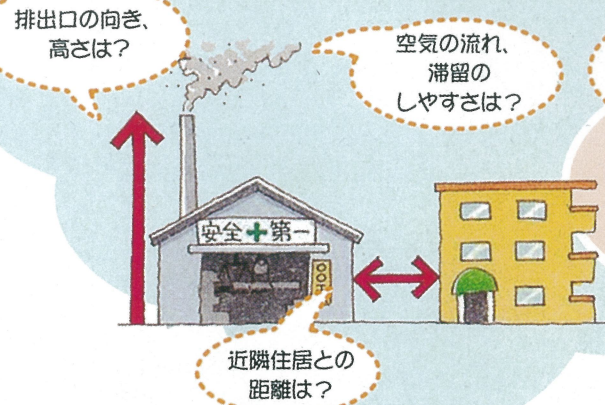


悪臭問題を起こさないために

STEP

1 事業場周辺の調査

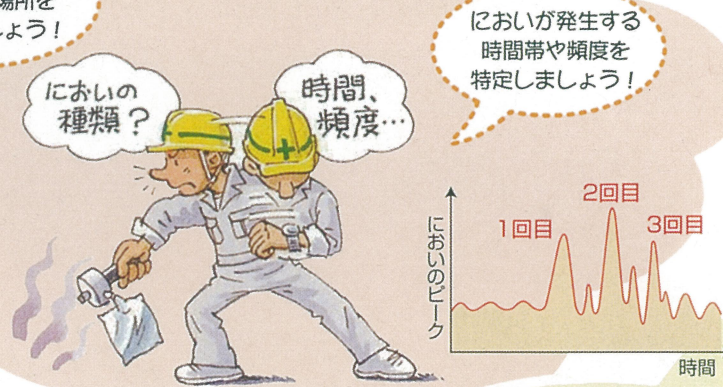
においが問題になりそうな場所を調べましょう。



STEP

2 悪臭原因の究明

においの原因をつきとめましょう。



STEP

3 悪臭改善対策の検討

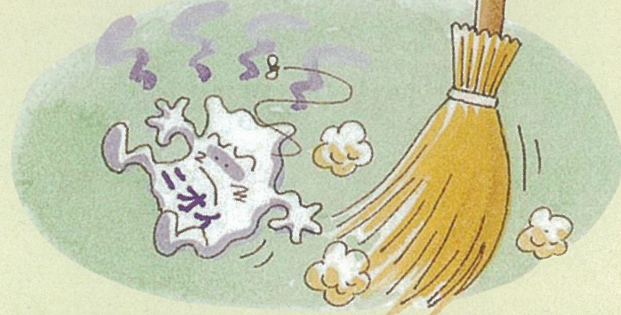
お金のかからない簡単な対策でもにおいが大きく軽減することがあります。実際の対策の中では脱臭装置の設置にまていたらないケースがほとんどです。以下の改善対策を検討してみましょう。

●クサイものにはフタをしていますか？



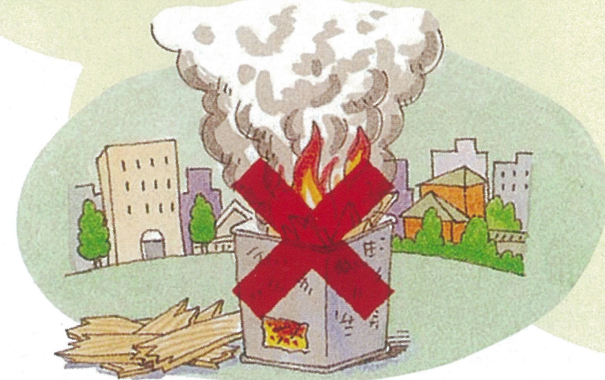
隙間からにおいが漏れ出ることがあるので、容器はきっちりと密閉することが大切です。窓や出入り口の開放部の閉鎖も効果的です。シャッターの設置などを検討してみましょう。

●においのもとを素早く片付けていますか？



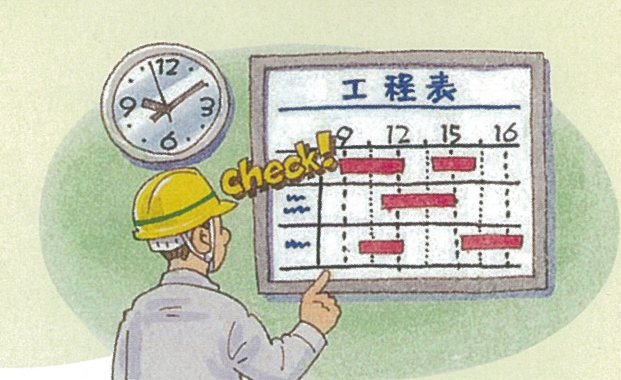
そのまま放置すると腐敗によってさらににおいが強くなることもあります。また、視覚的にも清潔感があれば、不快感は軽減されます。

●屋外でものを燃やしたりしていませんか？



廃棄物の処理及び清掃に関する法律により野外焼却は禁止されています！

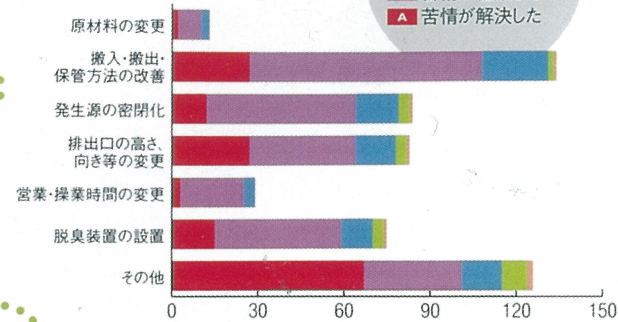
●においが発生する作業の時間帯は大丈夫ですか？



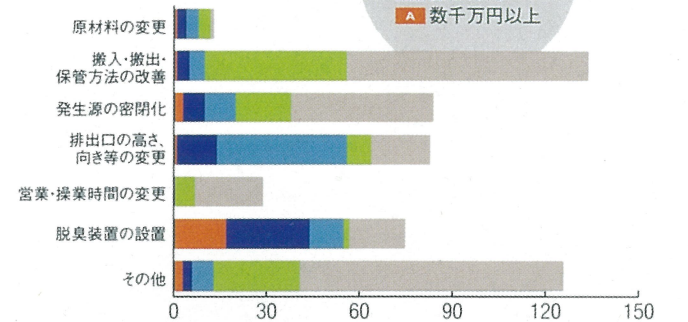
食事のときや洗濯物を干している時間は特に周辺に配慮しましょう。

平成14年度に環境省が行った悪臭苦情調査では下記の改善対策を行った際の苦情軽減効果や対策費用は下図のとおりとなっています。

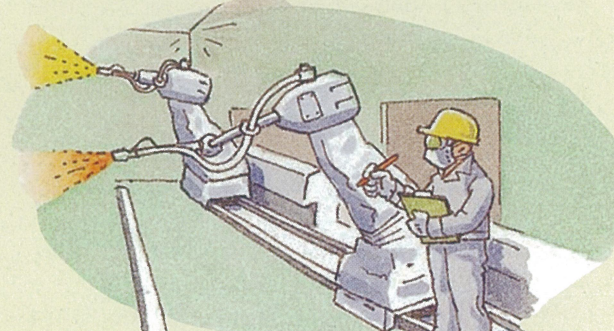
〈対策の効果〉



〈対策にかかる費用〉



●原料はにおっていませんか？



においの少ない原料に変更することでにおいの発生を抑制することができます。また、においが少ない代替品への転換や、直接加熱を間接加熱に変更することも有効です。
例) 塗装工場 溶剤系塗料→水性塗料に変更

●においを上手に排出できていますか？



排気フードがうまく設備されていないと、においをとり逃がしてしまうことがあります。出たにおいはできるだけ全部を薄まらないように捕えることがポイントです。配管の漏れや計器の故障がないかチェックしましょう。

●作業方法を改善できる所はありませんか？



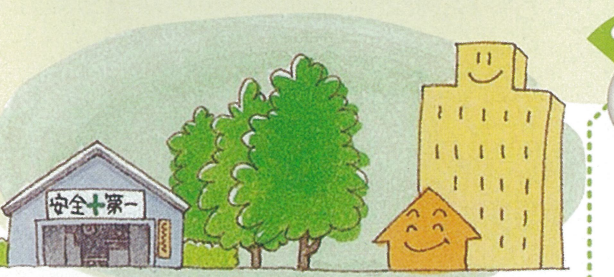
においが発生する作業は見直しましょう。
例) 有機肥料を撒いたらすばやく攪拌しましょう。

●排煙が周辺住居へ向かっていませんか？



周辺住居へ排煙が向かわないよう排出口の高さや向きを変更しましょう。

●敷地周辺の景観に配慮していますか？



植林や植栽はにおいの拡散を防止し、心理的にも効果的です。

STEP

4 脱臭装置の検討

ひとくちに脱臭装置といっても、性能や特徴は各装置でさまざまです。設置スペース、維持管理のしやすさ、コスト面（イニシャルコスト、ランニングコスト）等を十分考慮して選びましょう。